

林中だより

No. 271

平成23年12月12日発行
厚木市立林中学校
厚木市林5丁目5番1号
電話 046-224-4933
E-mail: hayashi-js@educity.
atsugikanagawajp

学校経営方針 「心ふれあう しなやかな 人づくり」

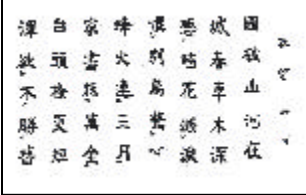
思いやる力の育成
たくましく生きる力の育成
社会とかわる力の育成

「PTAふれあいDAY」から見た地域と学校 教頭

11月13日(日)に「ふれあいDAY」を行いました。この「ふれあいDAY」を企画実施していく中で感じた地域と学校の関係について触れていきたいと思えます。

林中に赴任して早いもので6年目を迎えています。いままでいくつかの学校を経験してきましたが、林中に赴任して一番感じたことは地域とのつながりが強い学校だということでした。私的なことで申し訳ありませんが、今年自治会の役員を引き受ける事になりました。今までほとんど自治会活動に関わったことが無く仕事も持っていると言うことで渋っていたのですが押し切られてしまいました。総会を経て活動が始まると文化部長という役になりました。この役は自動的に公民館の文化振興委員になることになっていました。こうして自治会の行事と公民館の行事に係わる事になりました。当然、地域に住む子どもたちや学校のことが話題になります。教員として聞くと耳が痛いこともあります。全体として地域の人々の自分たちの地域に住む子どもたちという温かい視線を感じることができます。しかし、どういった方法で子どもたちや学校と関わりを持つかという点で足踏みをしてしまうことがあるようです。今年自治会では役員が小学校の朝の挨拶運動に参加しようという試みを始めました。また、文化振興の方では子どもたちを対象に自分たちが昔遊んだ凧やゴム飛行機づくりをしようという意見が出ています。

一方、林中の地域との関わりですが、長年培われた大きな財産を受け継いでいるように感じます。話しを戻しますが今年の「ふれあいDAY」はスタートが遅れてしまいました。一番難航した点が講師依頼でした。昨年は初めてということもあり教員が講師を務める講座も多かったのですが、それを極力減らすことにしました。その分学校外の人をお願いしなければならぬ状況でした。「地域の歴史を知ろう」というコースを今年はずりたいて考えていたのですが講師が見つかりません。こんな話しを地域の方に何気なく話しました。そうすると「あそこに住んでいるさんがこの辺りの歴史について詳しいよ。」と紹介してもらいました。結局この方には引く受けいただけなかったのですがこの話をすると、地域のつながりを通して「ダメならこの人はどうか。」「この人もできるかもしれない。」と多くの方に気を遣っていただきました。本当にありがたいことです。こういう事がいろいろな場面であるのが林中だと思えます。時として苦言を戴くこともあります。しかし、それも自分の地域の子どもの・自分の地域の学校のためという温かいまなざしを感じることができます。これが今の林中を支えていると思えます。



12
・
1
月
の
主
な
行
事

<12月>

15日(木)~20日(火) 1・2年三者面談
22日(木) 終業式

<1月>

10日(火) 始業式、書き初め展示、専門委員会
11日(水)~17日(火) 教育相談週間
26日(木) 2年生職場体験学習
27日(金) 1年職業講話(講師6名)
3年生は、公立高校の前期、私立高校の推薦入試が始まります

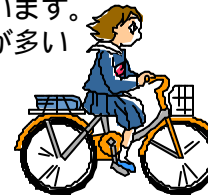
冬休みを迎えるにあたって

生徒指導担当

2学期も終わりに近付き、およそ2週間にわたる冬休みが始まるようとしています。現在、校内では大きな問題もなく落ち着いて生活している本校の生徒たちが家庭にかえり、地域の一員として生活することになります。

いくら校内で落ち着いた生活をしていると言っても、校外の生活で地域に迷惑をかけているようではいけません。校内には『きまり』がありますが、社会には『マナー』があります。日頃の学校生活でしっかりした生活を送っている本校の生徒たちだからこそ、マナーを守って地域に貢献してもらいたいものです。

また、現在の社会的問題ともなっている自転車。歩行者を巻き込むものも含めて、事故がとて目立っています。それも利用者のマナー違反が原因となることが多いそうです。乗る時には加害者になることなく(もちろん被害者にもなって困ります)「道路交通法」はもちろん『マナー』を守り十分に気をつけてほしいと思っています。



さて、1年生から3年生までが、それぞれの学年に応じた冬休みとなります。「自分が今やるべきことは何か?」を常に考えて行動してほしいと思っています。

最後になりましたが、学校でも十分に生徒への指導はいたしますが、本校の生徒たちの健全な育成のために、各ご家庭と地域のご協力をお願いいたします。

平成23年度厚木市防火ポスターコンクール 入選

第26回和田傳文学賞

俳句の部 入選

詩の部 佳作

第45回中学生の税についての作文コンクール

財団法人日本税務協会会長賞(全国)、佳作(厚愛地区)

作文の部 佳作

短歌の部 佳作

『性教育講演会』を終えて

養護教諭

林中学校では毎年、各学年1回の「性教育講演会」を行っています。2学期には3年生と1年生の講演会があったので、内容と生徒の感想をご紹介します。

3年生は、エイズ教育の第一人者で、厚木市立病院で長年エイズの治療をされている岩室紳也先生に、エイズについてだけでなく、これからの人生を男性・女性として生きていくために必要なお話をさせていただきました。性感染症の話や性的マイノリティー(同性愛・性同一性障害など)の話など、親や教師ではなかなか話せない事を、わかりやすく体験談をもとに話してくださり、生徒も真剣に集中して聞いていました。

感想:大切なことなのに、人には言えないこと、口に出すのは恥ずかしいことのように扱われて、だからこそ無知で...今日のお話をいただいて初めて知ったこと、驚いたことがたくさんありました。今日のこと、未来の私を救うことにつながったかも知れません。病院で先生にお会いすることがないよう、正しい知識を持ち、自分自身を大切にしたいと思います。

1年生は、鈴木亜紀助産師さんに「助産師が伝えるいのちの話」というテーマで、人の命の誕生の奇跡的なしくみと、命の大切さについてのお話をいただきました。講演後は6人の赤ちゃんとのふれあいタイムもあり、恐る恐る赤ちゃんを抱っこする男子の姿に、先生も生徒も思わず微笑んでしまいました。

感想:あらためて命の大切さを知りました。赤ちゃんはお腹の中で工夫して生きていることがわかり、お母さんは大変な思いをして産んでくれたことが良くわかった。頑張って生まれてきたけど亡くなってしまった赤ちゃんの話は、とても悲しい気持ちになりましたが、そう言う子達のためにも、こうして無事生まれてくれた私たちが頑張って元気に生きていきたいと思いました。赤ちゃんはすごくかわいくて、抱っこしていて幸せでした。

* 2年生は2月に保健師さんの講演会を行います *

~ はばたけ、林中生!! ~

第12回アンサンブルコンテスト県央大会

金賞 打楽器四重奏、クラリネット四重奏

銀賞 金管八重奏

第24回清川やまびこマラソン大会

3 Km 中学女子

第2位

第4位

第5位

平成23年度明るい選挙啓発スタコンクール

佳作

参加賞

第17回神奈川県青少年空手道選手権大会

中学1年生大会 準優勝